

塗床の重要性

普段無意識に使用する床面ですが、メンテナンスを怠ると建屋の寿命を縮めることや、思わぬ労働災害の原因となることもあります。

食品工場、厨房、倉庫等の床には、コンクリートを保護し、美観性を上げるために「塗床」を採用されていることがよくあります。塗床には使用用途（ウェットか、ドライか等）に応じた様々な種類があり、昨今では高耐滑性、高耐熱性、高耐薬品性、防カビ、清掃しやすさ向上、施工後の溶剤臭がしないもの等の、さまざまな機能性を持つものもあります。

ただし、塗床も衝撃や温度差の繰り返しを受けると劣化します。

ひび割れや剥離、下地のコンクリート露出等の劣化に伴い、そこに水や汚れが溜まることで、虫や微生物、コケの発生源や温床になります。また、微生物の作るぬめりやコケによって滑り、人や台車が転倒する労働災害事故の事例もあります。

さらに製品異物混入につながる可能性について、実際に弊社が行う異物検査でも床材の剥離片だろうと推測する異物が存在します。床材が一段高いところにある製品に混入するとは考えづらいかもしれませんが、例えば原料の入ったコンテナを床に置いた時に底面に付着し、その後コンテナをひっくり返すように投入する際に一緒に混入してしまうことも考えられます。



←図1 施工前
排水溝近く（赤丸部分）に割れ目があり、残渣が溜まってチョウバエが発生。

図2 施工後→
塗床施工し、平滑で汚れが溜まりにくくなった。



図3 施工前→
床材が剥がれて滑りやすくなり、台車荷物が転倒し、労働災害になった。



←図4 塗床施工中
奥：施工済み
手前：未施工



ひび割れや剥離はいったん生じるとどんどん広がっていくため、把握して早めに対応しましょう。大掃除の時期ですので、掃除の際に床の状態をみてはいかがでしょうか。弊社でも塗床の施工のご相談も承っておりますので、お困りの際はご相談ください。

今月の



トラのはなし

今年もあとひと月を切り、来年が近づいてきました。今回は来年の干支の寅（とら）についての話です。

トラと言えば真っ先に思い浮かぶのが、目立つ黒色と黄色の縞模様だと思います。トラの縦縞模様は、茂みに隠れる時に体の輪郭をぼかす役割があるといわれています。でもあの派手な色合いで隠れてもすぐに見つかりそうですね。実は標的にする草食獣は色の識別ができないため、目立つ色をしていても問題ないそうです。また、トラは他の動物よりも強くて余裕のある生活をしていそうですが、実は狩りの成功率は

5～10%程度。食事頻度は少なく、カツカツの生活を送っています。メス1頭であれば、8日に1度大型動物の狩りが成功すれば生きていけるようで、動物園のトラも野生本来の行動ができるように、餌を週3日に制限されて体重管理をしているそうです。

来年の干支は正式には「壬寅（みずのえとら）」で「厳しい冬を超えて、春の芽吹きは生命力に溢れ、新しく成長する年になる」と言われています。コロナ禍が終息し、様々な新しいことに挑戦ができる年になると良いですね。



東洋産業株式会社

本社 岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL 086-241-8080・FAX 086-241-8094

拠点 大阪・姫路・岡山・倉敷・福山・広島・高松・松山・金沢